

学園テーマ「東海医療学園のブランド力を高める！」

重点目標

- I. 魅力ある学校づくりの推進
- II. 地域に貢献し、愛される学園を目指す
- III. 学園の運営基盤を強化する

評価 3: 優れている 2: 適切 1: 改善が必要

評価項目	成果と課題	評価	学校関係者評価および次年度の取り組み
1. 教育理念・目的・人材育成像	学校案内、ホームページ及び学生便覧等において、教育理念・人材育成像、ならびにアドミッション、カリキュラム、ディプロマの各ポリシーを学校の内外に向けて明示し、理解に努めた。また、「教職員の誓い」は継続して、1号館玄関ホールに掲げた。	2.8	「教職員の誓い」を掲げることで、教職員と学生との間に一体感を感じられて良いと思う。今後も、この誓いに基づき、学生のための教育の実践を継続して行って頂きたい。
2. 学校運営	<p>学園テーマである重点目標達成に向けて基本方針を定めるとともに、校訓「慈愛・至誠・奉仕」のもと、東洋療法の専門職として国民の健康を支える人づくりを教育理念とし、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明確に発信した。</p> <p>「あん摩マッサージ指圧等の手技における高い技術を身につけた人材育成や技の伝承」に努めることでブランド力の向上を図り、全体会議等を通じて教職員の共通理解に努めた。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルスの影響はあったが、概ね計画どおりの業務執行を行った。</p>	2.6	<p>知識、技術の習得は勿論、豊かな人間性を育む人材育成の場であることを重要視し、更にブランド力を高めていくことを期待する。</p> <p>また、創立66年という実績は大きな強みであるので、もっと打ちだしていくことも必要だと感じる。</p> <p>組織体制は学校運営の中心なので、しっかりと管理し維持していくことを望む。</p>
3. 教育活動	<p>1) カリキュラム</p> <p>教材「プロフェッショナルリズムとリスク管理」が完成し、教育課程編成委員会にて質の高さが評価された。また、あま指の外部評価に備える目的であん摩・指圧実技動画を作成した。学生への動画配信については Google classroom 等を活用する予定で準備を進めた。実習棟実技室に大型ディスプレイを継続して設置し、あん摩・マッサージ・指圧動画が実技室解放時に見られるようにしている。</p>	2.6	<p>様々な工夫をする取組は素晴らしいと思う。</p> <p>これを学生の成績や国試合格率につなげて頂きたい。また、ICT教育を導入することについては、教職員の皆が理解できるよう指導をお願いしたい。</p>

<p>3. 教育活動</p>	<p>2) 分かりやすい授業への取り組み 教員による自己点検評価、学生による授業評価、校長等による授業参観及びフィードバックにより授業の改善向上に努めた。</p> <p>3) 適切な成績評価 単位認定、進級・卒業認定等の基準を定め、これに基づく適正評価に努めた。試験においては必要度・難易度から十分吟味した問題の作成に努めた。</p> <p>4) 教職員の資質向上 静岡県職業教育振興会主催の新任教員研修会に参加し、資質向上に努めた。また、学園教職員研修会を開催し、ICT教育について、Google classroomを用いてスマートフォンやPC等の機材を使用し、何ができるのかを体験しながら行った。今後、どのように取り入れられるか検討する。その他、関連学会および各種セミナー等に参加し、資質向上に努めた。</p>		<p>実技動画については、更なる質と量を向上させていってほしい。また、進学ガイダンスなどで、学校や東洋医学紹介などの資料としても活用してみたらどうか、と思う。</p> <p>学生からの授業アンケートをこれまで以上に活用し、魅力ある講義内容づくりをしていって欲しい。</p>
<p>3. 教育活動</p>	<p>5) 臨床実習 当初計画していた地域住民を対象とした、あん摩臨床実習、ならびに介護保険施設の見学を中止としたが、教職員・3年生・学生の家族を患者としたあん摩臨床実習や外部の施術所臨床実習を実施し、施術者としての態度・技能の向上に努めた。</p> <p>6) その他の教育活動 球技大会はレクリエーション大会として、学園祭は地域交流イベントとして開催し、教職員や地域との交流や学生相互の親睦を図ることを目的に行った。解剖見学実習は、鶴見大学のご協力の下、2年生・3年生の見学を行った。特別授業、ゼミ等の教育活動はコロナウイルス感染症流行のため中止とした。</p>		

<p>4. 学修成果</p>	<p>進級率・卒業率の維持向上のため、面談による問題発見・助言に努めたが、中途退学者は8名（休学から退学は3名）であった。理由は健康上の理由・家庭の事情・進路変更であった。また、卒業認定試験後の学習サポートに努めた結果、留年者は1名であった。休学者は、健康上の理由で1名であった。</p> <p>年間を通じて国家試験対策授業の実施、向上学習など合格率向上に努めたが、あん摩マッサージ指圧師試験 100%、はり師試験 69.7%、きゅう師試験とも 72.7%であった。</p> <p>（公社）東洋療法学校協会による実技評価を受け、受験者全員が合格した。</p> <p>日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー認定試験について、令和4年度AT理論試験に現役生5名、修了生3名合計8名が受験したが全員不合格となった。（令和3年度理論試験の合格率は24.2%となっている。）</p> <p>JATI認定トレーニング指導者資格試験に1名が受験し、1名が合格した。</p>	<p>1.8</p>	<p>国家試験合格率 100%を目指し、急なる改善が必要だと思う。また、現役生だけでなく、不合格者へのサポートも行って頂きたい。</p> <p>中退者については、コロナによる影響もあったかと思うが、例年より多いように感じる。中途退学者ゼロを目指し努力して欲しい。</p> <p>A T試験の全国合格率が低いのに驚いが、本校における合格率低下の原因も追究してもらいたい。</p>
<p>5. 学生支援</p>	<p>1) 進路相談</p> <p>①令和4年度より、キャリアマップアプリ導入。 学生が求職、セミナー参加など多岐に渡り活動ができる環境を構築した。</p> <p>②外部講師による3年生対象の就職セミナー（マナー、履歴書の書き方、職場訪問の仕方など）を開催した。</p> <p>③就職ガイダンスを11月に開催した。令和3年度同様、静岡県内、神奈川県西部地区の企業、医療関係事業所を主とし縮小開催とした。参加事業所は24カ所であった。</p> <p>④令和4年度の求人件数は470件（キャリアマップから358件、学校への直接112件）であった。令和3年度は164件であり、前年度より大幅アップした（但し、キャリアマップの求人については、全国の同分野校も閲覧共有できる）。</p> <p>2) 健康管理</p> <p>学校保健安全法に基づき、学生および教職員の健康診断を実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため引き続き、登校時の検温と手指消毒、施設内の清掃</p>	<p>2.8</p>	<p>全体的な学生への支援内容については評価できるため、この内容を継続して頂きたい。</p> <p>進路サポートでは、アプリ導入により進路の選択肢が広がっているのは良いことだと思う。職業意識を高めていくという観点から、1年生の早い段階での指導を充実させるなど、新たな工夫も期待する。</p> <p>臨床心理士による新入生の「健康チェック」は、大変重要な方策だと思う。今後も継続して実施して頂きたい。</p> <p>奨学金制度は、現在の日本経済の現況からも非常に大切な学生支援なので、現在対応しているもの以外にも、適用できる奨学金の種類なども調べ、選択肢を拡大するように努めて欲しい。</p>

<p>5. 学生支援</p>	<p>および消毒の徹底、学生にはマスクや消毒用アルコールの配布等を行い感染防止に努めた。また、B型肝炎予防接種を実施、実習および将来の業務による感染防止に努めた。</p> <p>3) 生活相談</p> <p>①日本学生支援機構奨学金（高校新卒者に対する予約採用、在学採用、社会人に対する在学採用）に関する相談、貸与申請、継続手続きなどの支援に努めた。</p> <p>②期限までに授業料等納付困難な学生に対し、分割納付を助言、指導した。</p> <p>③校友会奨学金制度に基づき、対象学生に給付した。</p> <p>④高等教育の修学支援制度の認定校として3年目を迎え、対象者に対し、給付型奨学金と連動した授業料減免制度の申請、手続き等を行った。</p> <p>⑤昨年引き続き国が創設した、コロナウイルス感染症の影響に伴う「学生等の学びを継続するための緊急給付金」制度の募集があり、該当学生への支援を行った。</p> <p>⑥臨床心理士による学生相談を実施、学習や生活についてのサポートに努めた。</p> <p>4) 卒後教育</p> <p>付帯教育である卒後臨床専攻コースに7名が進み、研修を修了した。</p> <p>鍼灸臨床実技セミナーは、コロナ禍で2年続けて中止していたが、令和4年度は、感染対策をした上で2回開催した。</p>		
<p>6. 教育環境</p>	<p>1) 施設・設備の構造・面積等を法令に準拠している。</p> <p>2) 図書室に飛沫防止のためのパネルを設置した。</p> <p>3) その他、教具・図書等の充実に努めた。</p> <p>各階に防犯カメラを設置、防犯・安全対策に努めている。</p> <p>非常放送設備等の定期点検を実施した。</p> <p>4) 1号館4階のトイレの改修を行った。</p>	<p>2.4</p>	<p>JRの線路が隣接しているため、新幹線等の通過音が気になった。学生が授業時に聞き逃しなどがなければよいと感じた。</p> <p>限られた予算内において、環境整備が行われていると思う。</p> <p>図書室は原則、黙読だと思うので、飛沫防止パネルの設置が必要か疑問に思った。</p>

<p>7. 学生募集 および受け入れ</p>	<p>アドミッションポリシー及び学生募集要項に基づき、適正に実施している。</p> <p>1) 令和4年度生の入学定員充足率は82.5%であった。</p> <p>2) インターネット出願を導入し、手続きの簡素化を行った。</p> <p>3) 本校の情報を、適宜学校ホームページやSNS等で発信した。</p> <p>4) オープンキャンパス、高校生対象の入試説明会を開催した。 また、夜間の学校説明会も例年通り開催した。</p> <p>5) 業者主催による進学相談会（会場型、高校内）は、令和3年度と比較し開催する高校も増えたため、積極的に出席した。高校訪問については、訪問先状況に応じて実施した。</p> <p>6) 新入生プレスクールを実施。感染症対策に努めつつ、新入生同士のコミュニケーション、学習への意欲向上、基礎学力の把握等に努めた。また、保護者に対しても学習支援の説明・協力を求めた。</p> <p>7) 高等学校からの依頼により、出張授業に対応した。</p>	<p>2.8</p>	<p>募集に関するイベント等の内容は問題ないと思う。</p> <p>コロナ禍の中で、進学相談会数などが増加したのは良い傾向だと思われ、それ以外にも募集窓口を広げている努力がみられる。今後は、生涯教育の観点から、地域住民へのPRも拡大してはどうか。</p>
<p>8. 財 務</p>	<p>健全な財務状況の保持と情報公開に努めている。</p> <p>予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。</p> <p>令和4年度においても定員充足を充たせなかったことによる収入減により、支出が収入を上回る状況となった。会計監査は適正に実施されている。</p>	<p>1.8</p>	<p>会計自体は、厳しい状況の中、適切には処理されていると思う。</p> <p>支出が超過しないよう厳正な会計管理を行ってもらった。同時に、今後も安定した経営を存続させていく上での方策をしっかりと練って欲しい。</p>
<p>9. 法令等の遵守</p>	<p>専修学校設置基準、職業実践専門課程の規程、養成施設認定規則および同指導ガイドライン等の法令を遵守している。</p> <p>前年度の学校運営について学校関係者評価を実施、その結果を公開した。</p>	<p>2.6</p>	<p>引き続き遵守した学校運営に努めて頂きたい。</p>

<p>10. 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>施術所の運営を通じて、市民の保健衛生の向上に寄与した。 熱海市内で開催予定のイベントは昨年につき中止となっているため、施術所が主催となり、伊豆山土砂災害の支援と地域を盛り上げる活動として7月に「えきうらマルシェ」、12月に「えきうらバザー」を開催した。 毎年小田原アリーナで開催されている「全国定時制高校バドミントン大会」、栃木国体が開催され参加した。近隣高校の部活動の現場実習を兼ねたサポートは継続している。 昨年度まで中止となっていた、県内高等学校における出前講座に参加した。</p>	<p>2.4</p>	<p>コロナの状況も落ち着いてきているので、これまで以上に積極的な地域交流等の実践を希望する。 特に、外部の方々に東洋医学に興味を持ってもらえるよう、新たなことにも取り組み、内容も工夫してもらうことを期待する。</p>
---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会

日 時 令和5年5月18日(木) 16:00～17:30

場 所 東海医療学園専門学校会議室

出席者 学校関係者評価委員会

委員長 矢田 真樹 (校友会監事・静岡県鍼灸学術研修会会長)

委 員 斉藤恭二郎 (公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長)

〃 中村 聡 (静岡県保険鍼灸マッサージ師会会長)

〃 井出 啓之 (とがみえん児童クラブ理事長)

〃 澁谷 哲平 (校友会副会長)

教職員 木村 博吉 (校 長)

〃 城 茂高 (事務長)

〃 水野 浩一 (教務課長)

〃 太田 一郎 (臨床センター長)

〃 金川 小百合 (AT コース長)